

(別紙)

評価項目ごとの意見等及び今後の手立て

岐阜県立衛生専門学校

| 評価項目         | 学校関係者委員からの意見等   | 意見等に対する今後の手立て  |
|--------------|---|--|
| 1 学校経営       | <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍のリモート教育について目標値を設定し、実践した結果、実績を考察して今後につなげることはとても良いので継続して実践してほしい。</li><li>・学校全体で評価を行っており、組織目標を確認しつつ、積極的に課題解決に取り組まれている。</li><li>・今後も教育の質を高め、県下の看護、歯科系養成所を牽引する役割を担われることを期待したい。</li><li>・着実かつ丁寧に取り組んでいる。</li><li>・<b>本委員会を含めて、例年の取り組みが恒例行事＝形骸化しないようにする工夫が必要である。</b></li><li>・<b>校内組織の見直しも検討してほしい。</b></li><li>・評価結果を共有し、教職員への周知を徹底するなど地道に対応されている。</li><li>・コロナウイルス感染症の影響で、先の見通しが明確にできない状況下において、頑張られていると思う。</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ICT推進など新たに立ち上げが必要となる委員会活動もあるため、学校全体で行っている取り組みを評価し、校内組織における委員会の再編成などスリム化も視野に入れ検討していく。</li><li>・学校関係者委員に関しては、委員構成に流動性をもちながら歯科系・看護系のバランスに配慮した采配など、常に新しい風が吹き込む体制を意識する。</li></ul>  |
| 2 学科運営       | <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>看護系学科はカリキュラム改正に向けた取り組みの進捗状況と、どのような点が大きく変更されているのか、その対応策を教授願いたい。</b></li><li>・各学科、学生のニーズ(評価)を取り込み、授業の工夫改善が行われている。看護系のカリキュラム改正に向け、これまでの評価の分析結果を十分活用いただきたい。</li><li>・学科の枠を超えた学習会の実施等、より幅広い視点をもてるような取り組みは評価できる。</li><li>・きめ細やかなミーティングが実践されているようで良い。</li><li>・学生に関することでは、<b>教育指導者と現場の指導者との指導方針、教育内容のギャップ、差を埋めることが重要であり、そのためには、教育と現場の連絡会議が必要である。</b></li><li>・カリキュラム改正があり、手探り状態と試行錯誤の中、より良い方向性を出していった下さい。</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・カリキュラム改正に向けた取り組みについては、学科により導入時期の相違があるため、多少進度に違いはあるが、令和1年度はカリキュラム評価を中心に実施し、評価結果をもとにリフレクションなど強化すべき内容を明らかにした。</li><li>令和2年度は、昨年度の評価結果と国から提示された指定規則やガイドラインに基づき、新カリキュラム構築に向けて計画的に活動している。</li><li>・臨地との乖離の解消に向けて、臨床が求める各職種別新人像も踏まえて、学科ごとの卒業生像を検討する。</li><li>・教員と実習指導者との指導方針、指導内容のギャップや差を埋めるために、定期的な実習連絡会議に加え、必要に応じて情報交換を行うなど、学生のレディネスの共通理解を図りながら、足並みを揃えた指導を目指す。</li></ul> |
| 3 入学<br>卒業対策 | <ul style="list-style-type: none"><li>・受験者、入学者は、ほぼ例年通り、他の養成校と比較してストロングポイントをアピールする。(学校見学・オープンキャンパス) (例) 目の行き届いた手厚い教育、指導</li><li>・確保に向けて様々な工夫、努力がなされている。</li><li>・<b>卒業生支援をより充実させて、後輩の確保、育成につなげられるとよい。</b></li><li>・生徒減少期において、各学科ともほぼ前年度並み又は、前年度を上回る入学者があり評価できる。</li><li>・進学ガイダンスの回数は減少しているようだが、整備予定のICT環境を活用するなど工夫してほしい。</li><li>・目標も持って入学した生徒が在学中に自らの進路にどのように向き合うか(いわゆるキャリア教育)の充実</li><li>・入学者数に関して受験体制や受験時期の見直しを検討し、<b>目標値が上回った科もあるが、下回った科については再検討が望まれる。</b></li><li>・<b>歯科系の県内就業率が低いのが残念であり、改善策を引き続き検討して頂きたい。</b></li><li>・歯科技工学科に関しては、県内就業は厳しい状況にあるのと、一般の情報、メディアには技工士にとっては逆風ではあるが、技工の仕事がなくなることはないの、活路を見出してアピールが必要かと思う。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・卒業生支援では、例年実施している卒業生交流会をコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、今年度は電話や来校による個別相談を中心に対応しているが、今後はICT整備を受け、その他、手軽なツールの活用も検討していきたい。</li><li>・今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止のため、オープンキャンパスの代替策として、学校説明を個別で実施したり、リモート説明会を開催するなどの対応を行い、入学生確保に努めている。</li><li>・入学生確保のためにも地域とのつながりを持ち、地域に選ばれる学校を目指す必要があり、ホームページの充実や地域住民の方に役立つ情報の発信、学校祭の開放、ボランティア活動への参加機会を増やすなどの検討をする。</li></ul>                              |

| 評価項目        | 学校関係者委員からの意見等  | 意見等に対する今後の手立て   |
|-------------|--|---|
| 4 学生生活への支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会としては、学生の臨床実習の幅を広げるため、県歯会館での障害者歯科治療の見学、補助が可能となるよう協力していきたい。</li> <li>・私学に比べて施設面でのマイナスはどうしようもないため、<b>生徒へのソフト面で支援をいかに充実するか。</b></li> <li>・学生主体の<b>校内活動やサークル活動</b>については、引き続き活動場所や助成金など支援が必要である。</li> <li>・ウイルス感染予防対策が想像以上に徹底されており、安心に繋がると感じた。</li> <li>・学生のニーズを汲み取っていただける様にしてほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の現状、サークル活動を率先して進めるのは難しいが、学生間での悩み相談できるような場の提供（男子学生のみを集めて相談会等）や、状況に応じて、スクールカウンセラーの積極的な活用を図る。</li> <li>・学生自治会の規約を見直し、学生主体で活動（校内活動、サークル活動、ボランティア等）ができるようにする。</li> <li>・サークル活動については、申請方法、活動状況の報告等の規約を作成する。活動の場所として長森コミュニティセンター等の検討をする。また、助成金に関しては同窓会に支援を依頼する。</li> </ul>   |
| 5 教職員の育成    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験合格率から教育内容は合格点と言える。</li> <li>・<b>学生と寄り添える人間味のある教育者</b>になっていただきたいと思う。</li> <li>・丁寧に取り組んでいる。</li> <li>・キャリア別達成目標を意識した研修をさらに充実すると良い。</li> <li>・学科によって研修実績に差があるが、<b>自己研鑽、研究発表等々、常にレベルアップ</b>していくことが望まれる。</li> <li>・他学科の授業参観等、自分の所属する学科を客観的に考察できるのは良いことで、他学科の良い所を取り入れて向上してほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント研修やコーチングスキルなどの強化を図り、教育力・組織力向上に努める。</li> <li>・コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、講義形式の研修会が中止となる一方で、webセミナーの案内を受け、学科を超えて多くの教員が受講する機会が得られている。今後も学校全体として資質向上ができるよう、その時々状況に応じた学びの共有や取り組みを推進する。</li> <li>・授業参観については、今後も計画的な実施を継続し、学科を超えた授業参観やICT環境の整備に伴い、他校との交流も計画しながら教育力向上に活かす。</li> </ul>                                     |
| 6 管理運営・財政   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理については、年々厳しい意見を耳にする機会が多く、十分な管理をお願いしたい。</li> <li>・個人情報の管理については、<b>今後のICT化を見据え、ルール化をより充実</b>されたい。</li> <li>・日常の危機管理意識を<b>管理職はもとより、一般職員も高く持つための取り組みをさらに充実</b>⇒ケーススタディ的な研修があると良い</li> <li>・地震や豪雨災害などに備えるための<b>防災設備や備品の確保、安全確保</b>に努めて頂きたい。</li> <li>・財政的には、どの状況においても十分ではないと思うが、運営はしっかりされていると思う。</li> <li>・同窓会に寄付をお願いしてもいいかと思う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT導入にあたり、情報管理はより一層重要となるため、情報セキュリティマニュアルの充実を始め、個人情報管理や危機管理、コンプライアンス研修などを開催し、職員全体の知識強化と意識づけを図る。</li> <li>・防災に関する危機管理意識を高めるため、研修内容・方法の検討をする。また、学生の安否確認方法の検討や危険箇所の定期点検などを行う。</li> <li>・災害時の簡易トイレ、職員の食料飲料の備蓄を整備し、学生の3日分の備蓄を検討する。また、防災ヘルメットの設置（外来者・非常勤講師用）をする。</li> <li>・安全確保のために、玄関・学生出入口に監視カメラの設置を検討する。</li> </ul> |
| 7 施設設備      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より改修工事を終え、きれいになっている。</li> <li>・変わらず整理されており、授業、実習とも問題なく使用できるよう整備されている。</li> <li>・様々な制限（構造・予算等）のある中、より良い環境整備に向け、検討、改修等の努力がなされている。</li> <li>・<b>図書室については、利用度が低いことから、使用目的、方法を含め、工夫</b>されると良い。</li> <li>・限られた予算の中で、施設整備の有効活用等、よく工夫して取り組んでいる。</li> <li>・<b>ICT環境整備については、一般のコロナ禍を良い意味でチャンスとして捉え推進</b>してほしい。</li> <li>・大規模改修事業については、予定通り実施された。<b>引き続き施設設備を継続</b>して頂きたい。</li> <li>・北舎は昨年より大幅に改良された印象を受けた。トイレの改修とパーテーションが新しく、清潔感があつた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の活用については、司書の配置により、展示方法の工夫など利用しやすい環境づくりは進んでいるが、増加につながっていない。図書室の利用方法等に関するガイダンスを司書に実施してもらうなど、学生と司書とのつながりが持てるような機会を増やせるよう検討する。</li> <li>・ICT環境の整備については、先進校の視察や教育委員会から情報を得ながら、県立3校合同で委員会を立ち上げ検討を進め、統一した仕組みづくりや利便性向上につながるよう努める。</li> </ul>   |
| 8 社会貢献・地域活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課外活動、ボランティア活動の実施について、新聞やメディアでアピールする。</li> <li>・高校生を対象にした学びの紹介は入学生増にも繋がる良い取り組みと言える。</li> <li>・コロナ禍の令和2年度においては、さらに<b>地域と連携が重要</b></li> <li>・<b>地域住民との交流やボランティア活動は必要</b>、学生時代の経験を積むためにも引き続き検討して頂きたい。</li> <li>・コロナ禍では厳しい条件だと思うが、<b>可能な範囲でアピール</b>して下さい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムでは、地域に根差した学校づくりが謳われており、互助の精神の観点から重要となっているため、カリキュラムの中に反映できるよう検討する。</li> <li>・ボランティア参加者に対しては、表彰や参加したことをどこか（学籍簿等）に残すことを検討する。</li> <li>・近隣小中学校での職業紹介や交流を引き続き実施していく。</li> </ul>   |